

令和5年度 那覇市上下水道局公金管理運用計画

那覇市公金管理運用方針に定める公金管理運用の基本原則に則り、公金の安全性（元本の保全）、流動性（現金化の容易度）及び効率性（収益の向上）を考慮した運用を行うため、令和5年度 那覇市上下水道局公金管理運用計画を次のとおり定めます。

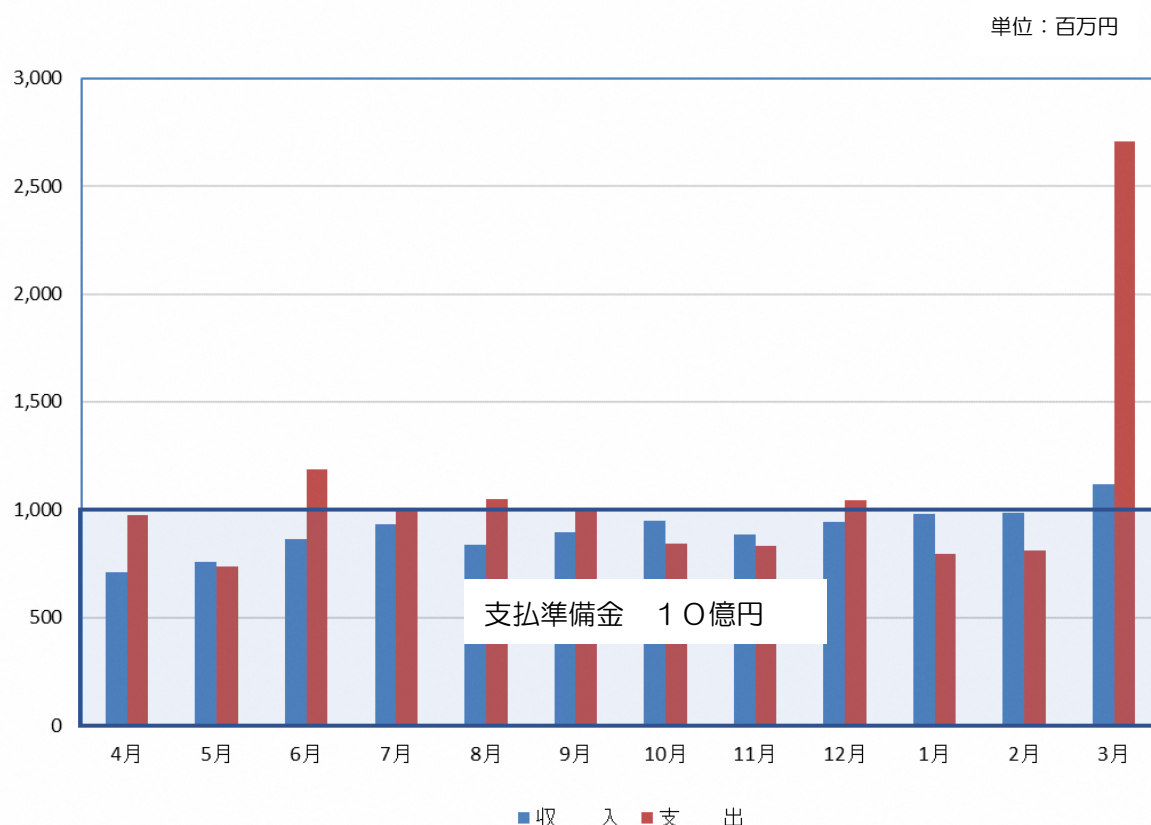
【水道事業会計】

1. 資金収支見通し

令和5年度の資金収支見通しは、以下の表のとおりとなっています。

収入は、水道基本料金減免により4、5月は例年より減少しますが、以降は多少の増減はあるものの安定したものとなっています。

支出は、6月に債券の購入、3月に一般会計等への長期貸付を予定しているため増加する見込みとなっています。不足する額については、定期預金（3月満期分）の一部を充てる予定となっています。



※毎月の支払に備えるため10億円程度を支払準備金として普通預金で保管します。

2. 運用方法

(1) 短期運用

財政見通しを踏まえ、支払準備金10億円を超える資金については、短期及び中期の資金需要や不測の事態に備え、定期預金での運用を行います。

(2) 長期運用

①債券

建設改良積立金、退職給付引当金及び損益勘定留保資金を原資に、金利の変動に留意しながら、20年債を各年度2億円、20年間購入し、合計40億円の債券購入を行います。

購入する債券は「那覇市債券運用要綱」に従い、国債、地方債、政府保証債、財投機関債又は地方公共団体金融機構債とし、元本の償還及び利息の支払いが確実な利付債券とします。

②他会計への長期貸付

一般会計や下水道事業会計へ貸付を行います。資金を分散させることによるリスク回避や、金融機関の預入利率より高い利率での貸付により、運用益を増加させることが可能となります。

また、定時償還により資金の流動性も図られます。

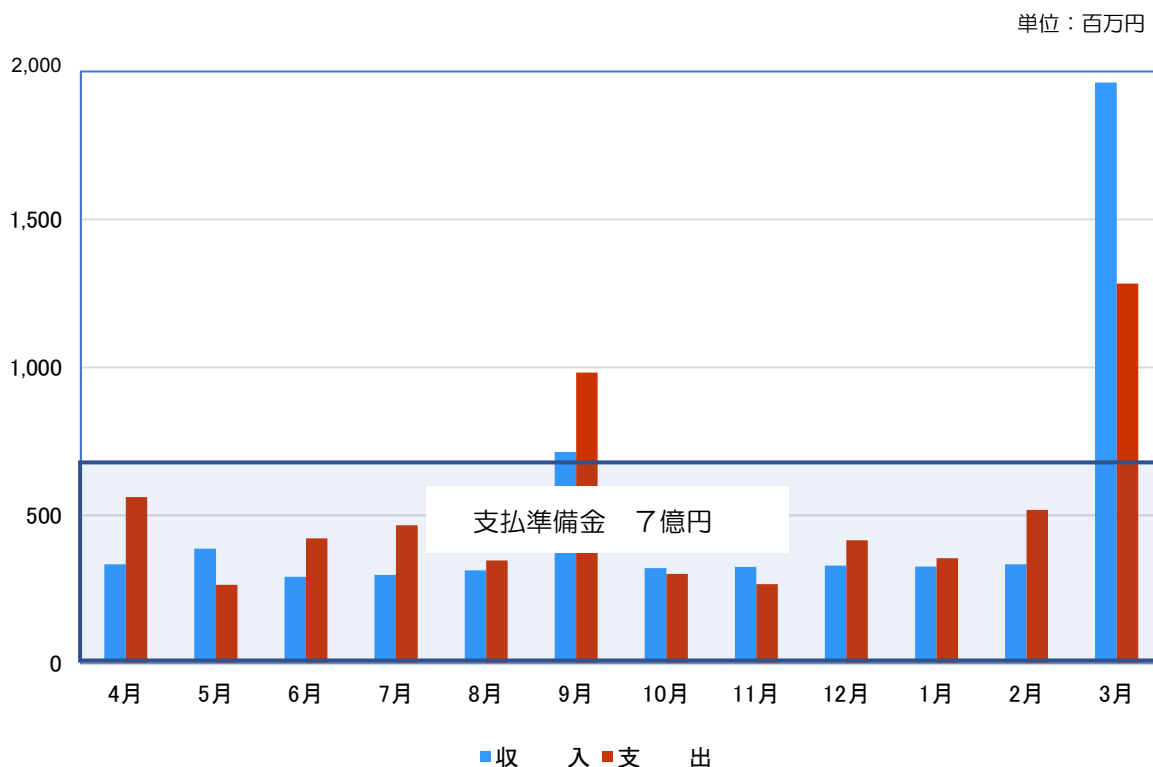
【下水道事業会計】

1. 資金収支見通し

令和5年度の資金収支見通しは、以下の表のとおりとなっています。

収入は、9月に一般会計繰入金、3月に補助金の受入れや企業債の借入を予定しており増加する見込みとなっています。

支出は、9月と3月に企業債償還を予定しているため増加する見込みとなっています。



※毎月の支払に備えるため7億円程度を支払準備金として普通預金で保管します。

2. 運用方法

(1) 短期運用

財政見通しを踏まえ、支払準備金7億円を超える資金については、短期及び中期の資金需要や不測の事態に備え、定期預金での運用を行います。

(2) 長期運用

企業債の残高を圧縮するため企業債の借入れを抑制することを優先しており、長期的な運用については、財政状況を見ながら検討します。